

国際ビジネスコミュニケーション学会関東支部会報

September, 2016 JBCA KANTO CHAPTER BULLETIN No. 101

ご挨拶

早秋の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。前回4月の支部会研究会には多くの方が参加されました。先生方の有意義な研究発表や講演において活発な意見交換も行われ、盛況な支部会となりました。次回の支部研究会は下記の日程と場所で行います。終了後には懇親会を予定しています。お忙しいとは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

次回日程：2016年10月1日(土)

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス

ポアソナードタワー 6階 BT0610 教室(4頁参照)

支部研究会午後2時開始 午後5時終了予定 研究会終了後、支部総会・懇親会

2016年 第100回関東支部研究会報告：研究テーマと発表内容

2016年 第100回 関東支部研究会は4月23日(土)午後2時から5時まで、法政大学市ヶ谷キャンパスポアソナードタワー 5階 BT 0509 教室で開催されました。研究テーマと発表内容は、次の通りです。

1. 山本 慎悟 中央大学

題目：代理店規則の適用を受ける代理権の範囲について

- 英国法およびアイルランド法下での「交渉」に焦点を当てて -

EUでは「商業代理店に関する加盟国の法令を統一するための指令」により、「商業代理店」に関する加盟国内法は統一をみている。そしてEU域内で活動する商業代理店が関係加盟国内法の適用を受けるためには、当該加盟国内法の「商業代理店」に関する定義規定に定める要件を満たす必要がある。しかし加盟国内法の解釈は当該加盟国に委ねられている関係上、加盟国間で当該要件に違いがみられる。そこで本報告では、EU加盟国である英国とアイルランドの商業代理店関係法規定定義規定における「交渉」に焦点を当て、その解釈

が問題となった係争事件を基に両国間での解釈上の相違を比較しつつ、両国の商業代理店関係法規の適用を受けるために必要となる代理権の範囲を、実際の事例を基に明らかにした。

2. 田中宏昌 明星大学

題目：グローバル化対応人材育成：教育および研究手法

グローバルビジネスに対応する人材育成で、語学力と仕事力をリンクし、実際の業務に活用する経験をとおした人材育成の重要性が指摘されている。しかし、実際の大学教育の中では、細分化された能力を科目ごとに教えるため、十分な対応が難しい。本研究は、国際的ビジネスの疑似体験学習を通じた大学教育の実例を紹介し、疑似体験学習の場から収集したデータに基づく研究分析の妥当性に関する議論を展開した。ルーマニアなどの海外で学生が直接プロジェクトに参加することで、自立した学習者として成長していく可能性が示された。

次回支部会について

2016年10月1日(土)は支部会の公開講演の発表テーマ及び概要は次のとおりです。

法政大学市ヶ谷キャンパスポアソナードタワー 6階 BT0610 教室

研究会・総会終了後、懇親会がありますので是非ご参加ください。

1. 柴田 真一 目白大学 NHKラジオ講座「入門ビジネス英語」講師

題目： 英語の運用力アップの秘訣とは？

TOEICの点数は上がったが、仕事の現場で使える運用力がなかなか身につかない - こんな声をよく耳にする。ここでいう運用力とは「理解力」「説明力」「コミュニケーションスキル」の3つ。運用力をつけ、「使える英語」を習得するにはどうしたらいいのか。ビジネスの実体験やNHKの番組制作現場の話などを交えながら考えてみたい。

2. Florin Nechita, Transilvania University of Brasov (Guest Speaker)

Title: Extracurricular project-based learning in communication studies at Transilvania University of Brasov, Romania

Related with some theoretical considerations about project-based learning (PBL), it will be described that four of the projects developed for the students from the Communication and Public Relations studies, Transilvania University of Brasov. Students participating in this program enrolled with the expectation to work in the PR and marketing communication, preserved their intentions at the middle of the cycle, feeling discontent with non-existing or poor links between theory learned and future prospects for applying it in the jobs that they dreamed off. The aim of PBL projects is to bring students out of the box of conventional thinking by engaging them with the environment and with each other, exceed standards, and to deliver creative solutions to authentic problems. Brasov School of Communication is the "umbrella" for many extracurricular projects that involved the presence of professionals working in the industry like Leo AdCamp, Transilvania Creative Fest and Transilvania Creative Camp.

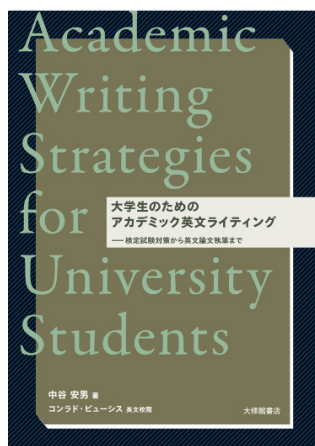
会員出版物案内



『20ステップで学ぶ日本人だからこそできる
英語プレゼンテーション』

藤尾美佐 著

2016年3月 ディーエイチシー



『大学生のためのアカデミック英文ライティング
- 検定試験対策から英文論文執筆まで』

中谷安男 著

2016年5月 大修館書店

法政大学市ヶ谷キャンパスポアソナード・タワーへのアクセスガイド

【JR線】 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

【地下鉄線】 都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10 分

【地下鉄線】 東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

【地下鉄線】 東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10 分



編集・発行：〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

法政大学経済学部 中谷研究室内

国際ビジネスコミュニケーション学会関東支部長 中谷安男

Tel. 042-783-2527

E-mail: nakatani@hosei.ac.jp / ynakatanister@gmail.com